

モルタル面及びプラスター面

18章9節:合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) ハイライト#800 (標準仕様)

使用材料一覧表

| 規格 一般名称 | 商品名 | ホルムアルデヒド 放散等級 | 希釈剤 |
|--------------------------------|----------------|------------------|-----|
| 1 JIS K 5663 合成樹脂エマルションシーラー | 水性マイティーシーラーマルチ | F☆☆☆☆ | — |
| 2 JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント | ハイライト#800 | F☆☆☆☆ | 水道水 |

塗装仕様

表18.2.4 モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ【A種】

| 工程 | 塗料その他 | | | 面の処理 |
|----------------|-------------|----------------|-----|----------------------|
| | 規格番号 | 規格名称 | 種類 | |
| 1 乾燥 | — | — | — | 素地を十分に乾燥させる。 |
| 2 汚れ、付着物除去 | — | — | — | 素地を傷つけないように除去する。 |
| 3 吸込止め | JIS K 5663 | 合成樹脂エマルションシーラー | — | 全面に塗り付ける。 |
| 4 穴埋め、 パテかい | JIS A 6916 | 建築用下地調整塗材 | C-1 | ひび割れ、穴等を埋めて、不陸を調整する。 |
| | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルションパテ | 耐水形 | |
| 5 研磨紙すり | 研磨紙P120～220 | | | パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。 |
| 6 パテしごき | JIS A 6916 | 建築用下地調整塗材 | C-1 | 全面にパテをしごき取り平滑にする。 |
| | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルションパテ | 耐水形 | |
| 7 研磨紙すり | 研磨紙P120～220 | | | パテ乾燥後、全面を平らに研磨する。 |

(注) 1.仕上材が仕上塗材の場合は、パテ及び工程3の吸込止めは、仕上塗材製造所の指定するものとする。

2.仕上材が壁紙の場合は、パテ及び工程3の吸込止めは、壁紙専用のものとする。

3.合成樹脂エマルションパテは、外部に用いない。

表18.9.1 合成樹脂エマルションペイント塗り【A種】

| 工程 | 商品名 | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率(%) (重量比) | 塗装方法 | 塗付け量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (20°C) |
|----------------|----------------|------------|---------------|-----------------|------------|--------------------------------|----------------|
| 1 下塗り | 水性マイティーシーラーマルチ | 透明なブルークリヤー | — | 無希釈 | 刷毛 ローラー | 0.07 | 2時間以上 |
| | | | | | スプレー | | |
| 2 中塗り (1回目) | ハイライト#800 | 各色 | — | 5～10 | 刷毛 ローラー | 0.10 | 2時間以上 |
| | | | | 5～15 | スプレー | | |
| 3 研磨紙すり | 研磨紙P220～240 | | | | | 清掃後 | — |
| 4 中塗り (2回目) | ハイライト#800 | 各色 | — | 5～10 | 刷毛 ローラー | 0.10 | 2時間以上 |
| | | | | 5～15 | スプレー | | |
| 5 上塗り | ハイライト#800 | 各色 | — | 5～10 | 刷毛 ローラー | 0.10 | — |
| | | | | 5～15 | スプレー | | |

(注) 1.素地ごしらえの種別は、塗料その他の欄による。

2.押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18.2.6によるB種とする。

18.2.5 モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ

モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえは表18.2.4により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

18.9.2 モルタル面及びプラスター面合成樹脂エマルションペイント塗り

合成樹脂エマルションペイント塗りは表18.9.1により、種別は特記による。特記がなければB種とする。

なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、单品説明書などを参照ください。